

税金

留萌市立港南中学校 二年 宮丸 詠詩

最近、ニュースやインターネットなどで「税金が高すぎる」や「減税してほしい」などの意見をよく見かけます。たしかに、家族が「また増税か・・・」と、困ったようにしてマイナスなイメージをもっていました。ですが、私はこの作文を書くために、税金について調べてみたことでその印象が少し変わりました。

税金は、私たちの身の回りのすぐそばでたくさん使われていることを知つて少し驚きました。たとえば学校、教科書や机、黒板などの備品、それに先生たちの給料まですべて税金から出ているそうです。そのほかにも道路や公園、図書館、病院、警察や消防など私たちの生活を守り、支えてくれているものが多くが税金のおかげなのです。また、私の住んでる町には大きな図書館や児童館、公園があります。どれも無料で利用できるので、よく遊びに行きます。お金を払わずに使えることを不思議に思つたことはありませんでしたが、これも税金のおかげということを知りました。これまで当たり前のように行つていたことも、税金でつくられていることを知つたとき自然と感謝の気持ちがわいてきました。

一方で税金の使い道について問題があるという話も耳にします。「無駄遣いが多い」とか「本当に必要なところに使われていない」といった声を聞くと、不安や不満に思うのはわかります。たしかに私も税金の使い道について考え直すべきところはあると思います。でも、だからといってただ「減税しろ」と、批判するだけでいいとは思いません。まずは、税金とは何か、どのように使われているのかをよく学び、それを理解したうえで自分の意見をもつことが大事だと思います。

税金は道路や建物をつくるだけではなく、病気の時にお金を少し税金からまかなつてくれたり、困っている人たちを支える福祉の仕組みなど、多くの面で人々の暮らしを支えています。災害が起きたときの支援や、緊急時の避難場所の確保なども税金がなければ全てできません。税金は私たち一人ひとり、つまり社会全体を支えているのです。

私はこの作文をきっかけに税金について興味をもちました。もつともつと税について深く学びたくなりました。そして将来、ただ不満を言うのではなく、正しい知識をもとにしつかりとした自分の意見をもちそして、たくさんの人人に伝えられるようになります。よりよい社会をつくるために今自分にできることをしていきたいです。